

(午前) 蝶の標本づくり

(午後) クワガタムシの標本づくり

7月31日(木) 10:00~11:30 / 13:00~14:30 講師: ビ・ホプ・ネットワーク中部 宇野先生

★ 参加人数 (午前) 子ども19名、大人11名 (午後) 子ども19名、大人10名

1. 蝶の標本づくり：お話し・体験

＜お話し＞・蝶の捕り方（道具の紹介・昆虫のいる場所を知る）

- ・蝶の種類によって食べ物の違い
- ・美麗種と絶滅危惧種と外来種について
- ・トンボやバッタのお話し
- ・採取した虫の保存方法(標本)について

＜体験＞蝶の標本づくり

＜参加者の様子＞

- ・死んだ虫を扱うことに、少し緊張したが蝶の美しさに夢中になった。
- ・蝶の羽は想像以上に薄かった。
- ・標本作りは、羽を傷つけずにやるのが難しかった。
- ・蝶の羽を広げて胴体に昆虫針を刺すとき、ドキドキした。



2. 甲虫類の標本づくり：お話し・体験

＜お話し＞・虫の捕り方。道具とその使い方を知る

- ・捕りたい昆虫のいる場所を知る。（食草・植樹や場所の好みを知る）
- ・美麗種と絶滅危惧種と外来種について
- ・採取した虫の保存方法と名前の調べ方

＜体験＞カブトムシの標本づくり

※参加者の希望によりクワガタムシから変更しました。

＜参加者の様子＞

- ・クワガタムシよりカブトムシはくさい！！
- ・昆虫針のサイズはチョウの時より太くなっていたけれど、硬い体だと刺さらない。
- ・脚を整えて針を刺すのが難しい。



3. 参加者の声

- ・大切に育てたカブトムシやクワガタもこのような形で保存できる事を知った。機会があったら家でもやってみたい。
- ・捕まえた虫によって、網を替える面白さを知った。
- ・標本にすると裏側や足の先までじっくり見ることができるので、身体の作りを観察するのにとても良いことが分かった。
- ・今まで何気なく捕まえていた虫たちにも、それぞれ適した網やトラップがあることが分かった。
- ・生き物の命をいただく大切さと標本を作る意義をしっかりと理解したい。
- ・虫の世界も興味深いと思いました。
- ・家にいるカブトムシでも標本作りをしてみたい。

